

平成 21 年度 シラバス	学年・期間・区分	1年次・前期・必修	
	対象学科・専攻	機械・電子システム,電気情報システム,土木工学専攻	
環境創造工学プロジェクト (Creative Activities in Advanced Course)	担当教員	岡林 巧 (Okabayashi, Takumi) 植村眞一郎 (Uemura, Shinichiro) 堂込一秀 (Dougome, Kazuhide) 椎 保幸 (Shii, Yasuyuki) 榎根健史 (Kashine, Kenji)	
	教員室	岡林：土木工学科棟 3 階 (Tel. 42-9116) 植村：電子制御工学科棟 3 階 (Tel. 42-9088) 堂込：情報工学科棟 4 階 (Tel. 42-9096) 椎：機械工学科棟 3 階 (Tel. 42-9104) 榎根：一般科目棟 2 階 (Tel. 42-9075)	
	E-Mail	岡林：okabaya@kagoshima-ct.ac.jp 植村：uemura@kagoshima-ct.ac.jp 堂込：dougome@kagoshima-ct.ac.jp 椎：shii@kagoshima-ct.ac.jp 榎根：kashine@kagoshima-ct.ac.jp	
教育形態 / 単位数	PBL / 1単位		
週あたりの学習時間と回数	〔授業 (100分) + 自学自習 (50分)〕 × 15回		
〔本科目の目標〕 機械・電子システム工学専攻, 電気情報システム工学専攻および土木工学専攻の異分野の学生が横断して複数のグループを作り, 互いの専門知識を素地に PBL (Project Based Learning) 手法を用いて提示された課題のものづくりに挑み, (1)問題点を自ら見いだせること(2)問題点の解決手段を見出すことができること(3)問題点を解決できること等の能力の自己開発を目標とする。			
〔本科目の位置付け〕 本 PBL 手法による環境創造工学プロジェクトは, 機械・電子システム工学専攻, 電気情報システム工学専攻および土木工学専攻の学生が将来個々に立ち向かうであろう異分野の事例に対し, 臆することなく知恵を駆使して問題解決にあたることを可能とする「総合教育プログラム」である。			
〔学習上の留意点〕 学習上の留意点は, 環境に配慮する能力を身につけるため, 環境に関する共通科目を履修すること。自らの関心または必要性に応じて専攻分野以外の科目を履修すること。各自の専門分野の知識と 一般教養の知識を結びつけて, 問題を解決することが肝要である。			
〔授業の内容〕			
授 業 項 目	時限数	授 業 項 目 に 対 す る 達 成 目 標	
1. オリエンテーション	2	PBL (Project Based Learning) の概要が理解できる。	
2. 調査・分析	4	課題に関する事項の情報収集・分析ができる。	
3. 問題点の提示	4	課題に関する問題点の提示ができる。	
4. 問題解決に向けての手段	4	課題に関する問題解決の手段を見出すことができる。	
5. 設計・製作	10	課題に関する設計・製作ができる。	
6. 報告書作成	4	課題に関する報告書ができる。	
7. プレゼンテーション	2	課題に関するプレゼンテーションができる。	
〔教科書〕			
〔参考書・補助教材〕プリント配布			
〔成績評価の基準〕報告書 (70%) + プレゼンテーション (30%)			
〔専攻科課程の学習教育目標との関連〕1-3 〔教育プログラムの学習・教育目標との関連〕1-3 〔JABEEとの関連〕(b), (e), (d)(2)d)			